

特 116

21

# 思潮

國家の前途を憂ふる諸彦に請ふ  
御讀みになつたら出來得る限り多数の  
御方々に御廻はし下さい

現代思潮の病根  
吾人の覺悟



# 始



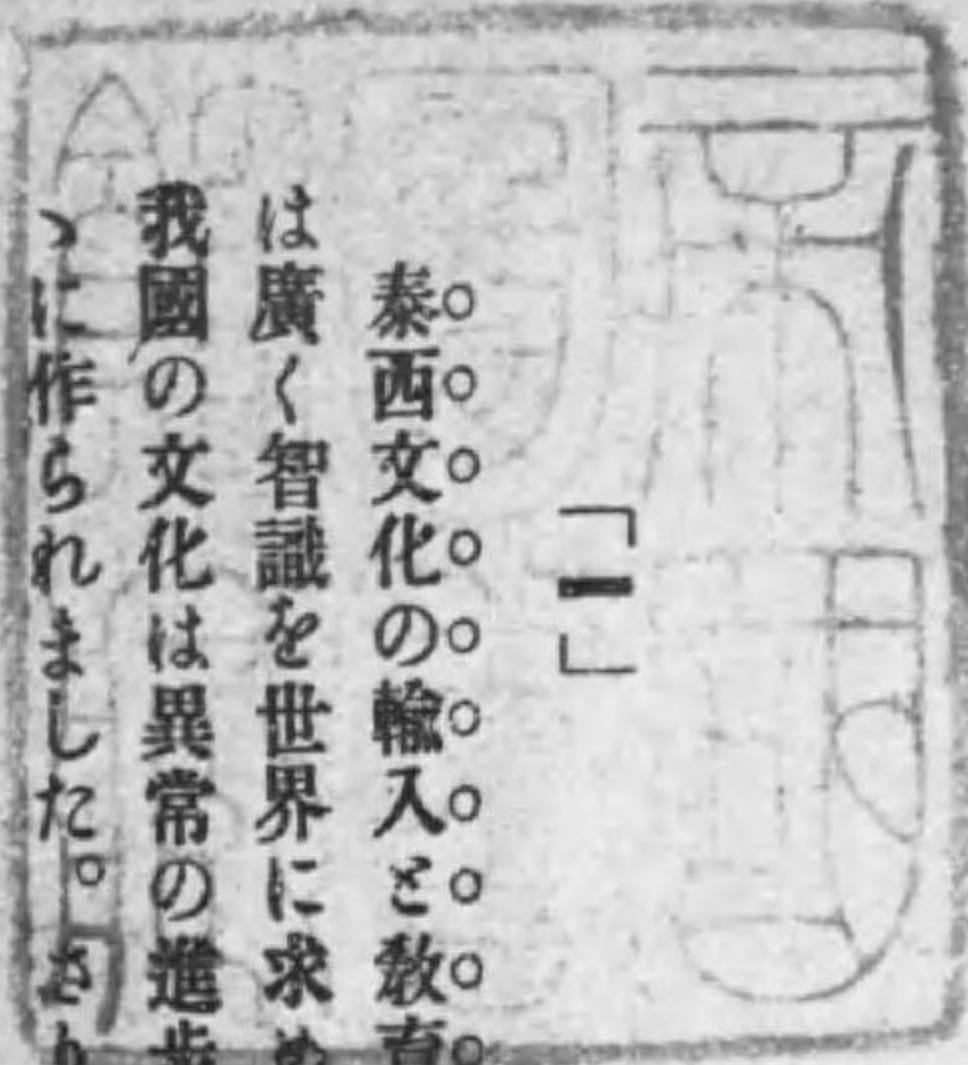


# 思潮

## 現代思潮の病根と

### 吾人の覺悟

永山時英



泰西文化の輸入と教育勅語 明治維新の後、我國は廣く智識を世界に求め、彼の短を補ひましたので、我國の文化は異常の進歩をなし、國運隆興の基礎はこゝに作られました。さうながら、佛國革命によりて詭激性を帯ぶる様になりました所の歐洲の思想も、亦之と同時に自然輸入されることになりましたので、我國の思想界が段々混亂するやうになり、人心が其の向ふ所に迷ふやうになつて参りました。そこで先帝陛下は深く御軫念遊ばされ、明治二十三年十月教育に關する

勅語を御下しになり、忠孝一本の道德が皇祖皇宗の遺訓であり我國体の精華であると同時に、古今に通じて謬らず、中外に施して悖らない所のものであることを御示しになつたので、國民が始めて迷夢を醒まし、その向ふ所を知る事が出来る様になりました。

歐洲の混亂と日本への影響 然るに其の後歐洲の思想界は急に非常な混亂状態に陥り、詭激な思想が大に勢力を得て、數百年來微動もしなかつた西亞大帝國が第一に亡び、さしも隆昌を極めた獨逸帝國及び奧太利亞國なども相次で亡び、帝國名もの1900年のは只英國のみとなつた。世界文化の中、正る歐洲文化、有様でありましたから、詭激なる新思潮は、14. 國家觀、念は次第に衰へ、風俗習慣も亦區々に變達して歸一する所なく、我が國民道德の如きも舊道德、多々顧みられぬやうになり、國家の基礎に龜裂を生じはせぬかど按せられるやうになりました。會々關東の大震災が起り、國家は物質上の一大損害を蒙り、國運の發展に一大障礙を惹起しました。

詔書煥發

是に於て今上陛下は深く御軫念遊ばされ



れ、一昨年十一月十日を以ていとも尊い詔書を喚發せられ、國民にその向ふ所を御諭し下さいました。誠に、畏多い次第でありまして、我々は深く聖旨を奉戴し、大いなる決心を以て大御心に副ひ奉ることを期せねばならぬと存じます。

病根を究むるを要す。 醫者が病人を治療するには、先つその病根を究めて而る後對症療法を講じなければならぬ様に、今日の混亂せる思想界を善導するにも、その病根を究めずして小刀細工を弄するのみでは、到底その目的に達することは出来ないと思ひます。

病根。 然るに最近に至り、所謂詭險思想の病根は明になりました。それは猶太人が世界各國を亡ぼして之を統一しようとする陰謀の結果であります。今や世人は猶太人の魔法に引か、つて居るのであります。吾人は急に彼等の魔法を打破らねばなりません。大に覺醒せねばなりません。殊に無暗に新しがつて居る人々は大に目覺めて貰はねばなりません。

### 二

猶太の國民性。 猶太人は既に千八百五十四年前に其の國を失ひ、世界の各地に雜居して居る民族であり

ます。が彼等は決して他の國民と同化せず、その民族内では今日に至るまで極秘密裡に親密な連絡を保ち、神が世界を統一して之を支配せしめんがために作つた所の民族であるを自信して、其の時の一日も早く到來せんことを期待して居ります。

猶太人の勢力。 彼等の人口は千三四百万人に過ぎませぬが、彼等は世界各國を彼等民族の手に歸せんことを期し、それがためには世界の富をその手に收め、富の力で各國を押へ付けようとして、手段を選ばず努力したので、今や世界の金貨及び金塊の少くとも三分の二は彼等の手に歸して居ります。そして彼等は彼等の目的を達せんとするには、言論機關を其の手に握る必要があることを夙に自覺し、その獲得に努めましたので、今や世界の新聞の少くとも七割以上は彼等の經營する所であり、世界的通信社は悉く彼等の金で經營して居るといふことであります。そして出版事業も亦盛に彼等の手で行はれて居るやうであります。

大思想家の輩出。 彼等の民族からは耶蘇基督といふ大思想家を出しましたが、その後も不思議なほど大思想家が相次で輩出致しました。最近のことのみを申

ても、マルクス、ロツセル、アインシュタインなどいふ大思想家は皆彼等民族から出てゐます。

世界は彼等の魔法にかゝれり。 世界の富と言論機關を一手に握り、偉大な靈腕を有する大思想家がその間から輩出してゐるのでありますから、どんな事でも出来ないことはない譯であります。こんな偉大な勢力を有する猶太人が世界各國の人心を悪化し、之によつて世界各國を亡ぼし、世界統一の大事業を遂行せんとするのでありますから、その方法は實に巧妙を極め、世人は現にその魔法に引か、つてゐるから少しも之を悟らぬのであります。

猶太人の世界統一理想の由來。 猶太人が世界統一の大理想を持つやうになりましたのはその由來甚古く、その建國者たるモセスの遺訓に基くものであるといふことであります。猶太人が最も尊心して居て處世の唯一の羅針盤と致して居ります所のタルムードといふ經典には、次のやうなことが書いてあります。

一、世界は猶太人に屬すべきものである。之を占領するためには猶太人はどんな手段を用ひても少しも差支はない

一、猶太人以外の人間の財産は、猶太人の所有となる迄の間一時假に之を彼等に預けてあるに過ぎない。

一、猶太人以外の人間は犬や驢馬にも劣つたものである。併し神が彼等に人間の形を與へたのは、猶太人が之を奴隸として使ふ場合に猶太人に不快を感せしめないためである。

一、猶太人以外の人間は之をだましても少しも差支ない。併しだましたといふことが彼等に悟られぬやうにせねばならぬ。

又舊約聖書申命記第七章には次の如き意味のことが書いてあります。

汝は汝の神エホバの汝に渡し給ふ所の人民を悉く亡ぼし盡さねばならぬ。彼等を憫んではならぬ。……決して彼等を恐るゝな。汝の神は彼等を汝に渡し大に惶れ慄かしめて之を亡ぼし盡し、彼等の王を汝に渡し給ふであらう。

理想實現の手段。 右の經典で猶太人理想の由來する所が分るでありませう。果して然らば彼等は如何なる手段方法を用ひて其の理想を實現しようとして居る



かと思ふと、經濟上の壓迫、國富の吸收、社會思想の悪化、風俗の壞亂これ等が彼等の主なる武器であります。今之を一々説明する代りに、一八九七年（明治三十二年）瑞西のバーセルで開かれたシヲニスト（猶太復興運動者）の秘密會合の席上で猶太フリーメンソンの結社の首領が演述しました所の世界破壊の計畫の大畧を左に紹介致します。

### 「三」

世界破壊の計畫 左に猶太人の世界破壊の計畫書を條を逐ふて陳述致します。

（第一）主權を弱め次で之を亡ぼす方法

吾人が自由平等博愛といふ言葉を民間に宣傳したのは既に古代のことであつたが、爾來これ等の標語は盲從的な吾人の謀者によりて世界の隅々にまで宣傳せられ、幾千万の民衆は救済者として大に之を歓迎してゐる。併し實際を言へばこれ等の標語は到る處平和安寧一致を打壞し、國家の基礎を覆し、國家の眞の防護者たる非猶太貴族を亡ぼし、其の没落した廢墟に金力といふ吾人の理想的貴族を元首として据ゐた。この新貴族の威力は富と科學の力である。吾

人はこの威力を用ひて獨斷專行の力を奪ふて彼等をして吾人の思ふ通りの行動をなさしめた

佛國革命 「吾人が自由平等博愛といふ標語を宣傳し始めたのは古代のことである」とありますが、それは何時からのことか分りませぬが

少くとも佛國革命以來はそれが非常に濃厚になりました。佛國革命では人民が此の標語に迷はされて、ルイ十六世は遂に斷頭臺の露と消れ、歌洲中最も王權が盛で人民の忠義心も他に比類なかつた佛蘭西帝國も忽にして亡び、人民は煽動家の口車にのせられて、音に閉く地獄の有様もよやくまではあらしを思はるゝ程の慘劇を演出致しました。そしてその影響は歐洲全土に及び、到る處に血の雨が降らされました。

その原動力 當時この革命の原動力は何であつたか分りませんでした。百餘年を経た今日に至り、それが全く猶太人の陰謀の結果であつたことが分りました

金力萬能 佛國革命以來、歐洲は漸次金力萬能の世となり、第三階級たる富豪即ちブルジョアが勢力を得て、多年政治上の大勢力であつた所の貴族は没落致しました。計畫書に「貴族の没落した廢墟に金力とい

ふ貴族を据ゐた」と申すのが即ちこれでありませぬ。

佛國に於ける猶太人の勢力 佛國革命以來、佛國の國會議員の大部分は猶太人の金力と努力によつて選出されたものであります。随つて猶太フリーメンソン結社員が議員の大多數を占めることになりました。佛國の愛國者ドリユモンが書を著して「猶太人の佛國」と叫んだのはこれがためでありました。

米國 は更に著しいものがありました。ウイムソン大統領が「米國は十數人の富豪によりて實際は支配されつゝある」と絶叫しましたが、それは皆猶太人である所の鑛山王鐵道王等であります。

（第二）民權を主張する理由と其の結果 人民が王を普通人と異つた神聖なものとして認め、神意の實行者と考へて居た時代には、人民は從順に王權に服従したが、吾人が個人の權利といふ觀念を鼓吹してからは、王を普通人と同一視するやうになり、王の權力は急に地に落ちた。

自由平等といふ觀念から憲法政治即會議政体が生れた。而して憲法政治は紛擾、爭論、不和、無益の黨争、黨閥の學校である。議會の論壇は王の勢力を殺

人はこの威力を用ひて獨斷專行の力を奪ふて彼等をして吾人の思ふ通りの行動をなさしめた

佛國革命 「吾人が自由平等博愛といふ標語を宣傳し始めたのは古代のことである」とありますが、それは何時からのことか分りませぬが

少くとも佛國革命以來はそれが非常に濃厚になりました。佛國革命では人民が此の標語に迷はされて、ルイ十六世は遂に斷頭臺の露と消れ、歌洲中最も王權が盛で人民の忠義心も他に比類なかつた佛蘭西帝國も忽にして亡び、人民は煽動家の口車にのせられて、音に閉く地獄の有様もよやくまではあらしを思はるゝ程の慘劇を演出致しました。そしてその影響は歐洲全土に及び、到る處に血の雨が降らされました。

その原動力 當時この革命の原動力は何であつたか分りませんでした。百餘年を経た今日に至り、それが全く猶太人の陰謀の結果であつたことが分りました

金力萬能 佛國革命以來、歐洲は漸次金力萬能の世となり、第三階級たる富豪即ちブルジョアが勢力を得て、多年政治上の大勢力であつた所の貴族は没落致しました。計畫書に「貴族の没落した廢墟に金力とい

ぎて無用の長物となし、多くの國々では遂に之を廢して了つた。かくして共和時代が到來した。そして吾人は群集の中から吾人の傀儡たる大統領を促へ來つて之を据ゐた。

成功 佛國革命以來多くの帝國主義の國々が亡ばされて共和國となりましたが、歐洲大戰爭の起るに及んで彼等の計畫は益々成功し、彼等が最も大なる防害物と認めて居た所の露帝國が先づ亡び、獨塊の二大帝國も亦相尋で亡びました。

世界破壊の計畫

（第三）輿論を掌握する方法 輿論を吾人の掌中に收めんとするにはそれを懷疑的地盤に据ゐつけねばならぬ。即ち諸方面から相矛盾せる理屈を云ひ、何れが眞理で何れが虚偽であるか解らぬ様に甲論乙駁世人をして迷宮に彷徨せしめねばならぬ。之が第一の秘訣である。

第二の秘訣は各國民の風俗習慣慾望公徳の觀念を互々に發達せしめ、何人もその選擇に迷ひ、人々が互に了解することが出來ぬ様にして國民が心を一にすることの出來ぬ様にせねばならぬ。



又吾人に最も危険なことは猶太人以外の人が獨創力を持つことである。殊にそれが天才的の人物である時は、吾人が折角全力を注いで紛擾の種をまきつけ國家破壊の武器とせんとして居る所の幾千万の民衆よりも、一層大きな仕事をなし、大に吾人の事業を妨害するであらう。夫故に獨創を要する事業には、猶太人以外の人々には自然に氣力がなくなる様に、彼等の教育を指導せねばならぬ。

各國をして互に相困應して外交上行詰つた状態に陥らしめねばならぬ。さうすると遂には國家の勢力をその儘そつくり吸収して超政府を作るやうに、國家の主權を吾人に提供せねばならぬやうになる。かくして目下の政府の代りに超政府行政廳と名づくる恐ろしいものを設くる様にせねばならぬ。」  
我國の現狀を考へましても輿論は既に懷疑的地盤に据わつけられてあります。風俗習慣公德等に關する觀念は區々に發達して、老人は青年を解することが出來ず、親は子を親を解することが出來ぬといふ有様で、億兆心を一にするといふ美風は最早や消滅し

かゝつて居ります。青年の獨創力の養成を妨害するやうな教育上の施設は、非常に澤山行はれて居ります。次の條で申しますが、猶太人等は青年を運動遊戯や遊蕩享樂主義の方に引きつけて、じつと考へる暇のないやうにして、獨創力の發達を妨害する工夫をして居りますが、こんなことは我國でも實際その通りであります。

超政府行政廳 といふ様なものは既に出來ました。國際聯盟とか、國際裁判制とか、國際的軍備縮少とかいふ國際といふ名のつくものは皆それでありませぬ。軍縮の國際的協調の如きは最も多く彼等の意を用いたものに相違ありませんが、日本人の中には平和とか人道とかいふ宣傳に乗せられて、協調以上の軍縮を極力主張するものがあります。

軍縮の原因と實際 軍縮といふことは表面から見れば無論結論なことではありません。各國が誠意を以て之を實行するならば、人類の平和の神として大に歡迎すべきであります。併し之は日本を恐れた爲めに起つて來た問題で、それも猶太人が世界に於ける眞の意味に於ての唯一の帝國たる日本帝國を亡ぼさんがために大

に宣傳した結果であります。それ故に歐米各國は口に平和を唱へ軍縮を叫びながら、その實は益々軍國主義に傾きつゝあるのであります。殊にこの事の主唱者であつた米國の如きは、軍縮は全く表面のみで、實際は猛烈な全國皆兵の實を擧げつゝあるのであります。

米國の實際 今その實際を申しますと、北米合衆國の各學校では徹底した軍事教育を施し、常備兵以上の實力ある各課兵種に涉る精兵を養成しつゝあります。

中等學校の兵式教練 米國の中等學校では我日本の如く一律に兵式體操を課しては居りませぬ。体育は各人の自由の選擇に任せてありますから、希望によりて各種の体育が行はれて居ります。そうして軍隊教練を選んだ生徒には直に陸軍から軍服と兵器とが交付せられ、現役の將校又は下士が來て軍隊同様に教育して居ります。その教練は我日本の體操科の如く形式的でないばかりでなく、各種兵科が課せられます。それ故にいざ鎌倉といふ時には、步騎砲工輜重等の澤山の精銳なる各種兵が立どころに中等學校以上の學校で組織され得るのであります。その外にナショナルガードといふものがあつて、地方の名望家が其隊長となり、地方

の有志家が兵となつて、時を定めて兵式教練をやつて居ります。かゝる有様で全國皆兵の實を擧げてゐますから、假令常備軍は少くとも、一旦緩急ある時は幾十万の精銳な軍隊が立どころに編成され得るのであります。

我國人の彼の名に迷はさる 然るに我日本人はかゝる事實あるを知らず、徒らに人道とか平和とかいふ美名に迷はされ、建國の基本たる尙武の氣象の如きすら軍國主義と改名して之を呪ひつゝあるとは、何と情ない事ではありませぬか。

猶太人の注意日本に集まる 聞く處によれば、猶太人は近年迄露西亞帝國を彼等が當面の敵國と認め、之が滅亡に全力を注いでおりましたが、その目的を達し得た今日では、彼等の注意は世界に於ける唯一の完全なる帝國たる我日本に向けられ、勞動爭議を起して我日本の産業を衰へさせ、日米戰爭を以て日本帝國を亡ぼすに最も良い機會と認めて居るといふことであります。然るに我日本人は之に氣付かず自ら進んで亡國の淵に臨みつゝあるかと思へば實に衷心慄然たらざるを得ない次第であります。



〔第四〕 風俗破壊の助長、遊蕩享樂主義の宣傳

無限に酒を呑むの権利は自由と同じく人に與へられてあるのであるから、非猶太人は酒に漬かつて居るがよい。併し猶太人には之を許してはならぬ。猶太人以外の人間は酒に亂心し、その青年は吾人の謀者の宣傳鼓吹に乗せられて、古典主義と早熟の淫亂とによりて没落しつゝある。吾人の謀者は富豪の家庭に入込んでゐる。享樂場に入出入する猶太人の女性は社交界の花として猶太人以外の人間の享樂贅澤を故意に幫助して居る。

所謂世界の一等國といふ國々に吾人は馬鹿げた淫靡な唾棄すべき文學を作り上げた。

口喧ましい人々を政治問題から遠ざけるために、目下吾人は所謂新問題即ち工業問題を持ち上つゝある。猶太人以外の人間は此の問題に熱中没頭するがよい。各國の政府と戦はんが爲に吾人が訓練した民衆には、この新問題を政治的意味を持やうに見せかけねばならぬ。さうして彼等は自分で何も考へ出さぬやうに、享樂や遊戯や性慾や民衆俱樂部などに引つけておかねばならぬ。やがて新聞の力により各種の

競技を提議する積りである。此等の興味は非猶太人の奮闘努力せねばならぬ諸問題から彼等を他に引つける。かくて段々と獨創の習慣を放れた所の世人は遂に吾人に共鳴することになる。何となれば吾人のみがかくして新思潮の先導者となるからである。但し吾人の同類と思はれぬやうな人を經て指導すべきである。

飲酒と淫風 飲酒が世人を毒しつゝあることは申す迄もないことではありますが、猶太人は飲酒せず、少くとも無暗に飲まないさうであります。歐米に於ける淫靡の助長か殆んど猶太人の専門ともいふべき有様であることは異論のない所であります。

遊蕩文學 世界の一等國に馬鹿げた遊蕩文學の出來たことは驚くべき有様であります。これ等は皆猶太人の掌握せる言論機關で推賞して流行させたのであります。かゝる裏面あるを知らず、吾國の軟文學者輩は無暗矢鱈に西洋文學に憧憬し、その毒を輸入して吾が青年男女を墮落させつゝあります。

競技 又運動競技といふことも世界の流行となり、吾日本の青年の如きも無中になつて居ります。是

も猶太人以外の青年の獨創力をなくせんがための良に引かゝつて居るのであります。体育の範圍内の運動は固より結構ですが、肝腎な學業を休んで遠國などに掛ける、これを以て虚榮を満足させるの具となし、無我無中で猶太人の良に引かゝり、ために最も必要な獨創力を失ふが如きは實に寒心に堪へない次第であります。

世界破壊の計畫

〔第五〕 普通選舉を煽動する所以

吾人が天下掌握の武器と恃む普通選舉は零碎な人類の分子に團體集合や妥協や合議の習慣を作らしめ、有識有産の階級からは得ることの出來ぬ絶對多數を得るにある。かくて段々民衆が自覺の觀念を養ひ、非猶太民族の家庭と其の教育的價值を打ちわし、吾人が指導する群衆をして猶太人以外に天才が傑出せぬやうに邪魔をさせねばならぬ。かくして民衆の中に据わておく吾人の手下の指導なしには、右にも左にも向ふことが出來ぬ所の盲從的の一大勢力を作る。さうすると民衆はこの勢力に従ふことになる。何となればこの民衆の決議によりて勞銀や施與や一切の幸福が得られる、から

である。

權力を愛する者を刺激して權力を濫用せしむるために、吾人は不羈獨立といふ我儘の傾向を鼓吹して、あらゆる勢力と對立せしめ、各政黨を武装し、各國を擾亂の巷と化した。無遠慮な政治論客や、大膽な新聞屋は、毎日行政官を攻撃して居る。權力の濫用はかくて官衙の没落を誘致しつゝある。やがて五里霧中にさまよふて居る群衆の一撃の下に萬事は顛覆するであらう。共和制の權利は貧乏人にとりては痛々しい皮肉である。何となれば日々衣食に追はれて居る身には到底之を利用することは出來ないで、却つて雇主又は同僚の同盟罷工で確な一定した収入も得られぬことになるからである。

貴族は人民の幸福があつて始めてその利益を收むることが出來るのであるから、自然に人民の利益の防護者であり又その養育者である。然るに人民は之を滅ぼした。今や人民は貴族の撲滅と同時に勞働者に取つて無慈悲な無賴漢蓄錢奴の壓迫の下に呻吟して居る。

吾社會主義フリーメーソンの主張する所謂人道博愛主義を口實として所謂援助を與へて居る所の吾軍隊即ち



社會主義、無政府主義、共產主義に参加することを下層人民にすゝむれば、彼等は壓迫からの救済者として吾人を仰ぐであらう。併し吾人は實は労働者の營養不良と體質虚弱を祈るものである。何となれば民衆をして絶對的に吾人に服従せしむるには、吾人に反抗する勇氣も精力も無いやうにしておかねばならぬからである。

吾人は生活難とそれから生ずる嫉妬憎惡の念とを利用して群衆を動かし、その手を藉りて吾人の行く先を遮るものを撲滅したいと思ふ。」

一露國の實例 露國に於ては万事がこの計畫通りに實行されました。露國は百十一もある多くの民族の集りでありながらその統一が保たれ富國強兵の實が擧げられてゐたのは、皇室と宗教とが國民の信頼を博して居たといふこと、軍隊と警察とが能く整頓して居たためであつた。然るに自治といふ好餌の下に人民が煽動に乗つて王權が地に落ち、普通選舉によりて知識階級や有産階級は全く勢力を失ひ、穩健な主張は全く容れられぬやうになつて、國民は遂に塗炭の苦に陥ることにになりました。

工場を奪ひました。

結果 かうして地主や資本主や有産階級は皆亡びて、世は下層無産階級の天下となりました。併しこれ等の人々には工場や大きな土地の農業を經營して行くことは固より出来ないで、物資は缺乏し交通機關は止まつて、人民は非常な苦境に陥りました。さうして間もなく私有財産を許さない結果、農民等は從來所有して居た土地からの收穫をも勝手に處分することが出来ぬやうになり、僅に一家の口を糊する丈の穀物を残して、他は悉く政府に沒收されましたので、農民は耕作をせぬ様になり、飢饉が忽ちに襲來しました。

露國民の壓迫 今や露國では衣食の給與は専ら切符制により、而も之には等級がつけられてあつて、勞農政府の爲に犬馬の勞をこる赤衛軍が一等、官吏が二等、その他は政府に對する忠勤の程度によりて等級がつけられ、全國民は皆労働を強ひられ、之に従はねば衣食も與へられぬといふ有様であります。それ故、今や露人は帝政時代のことを追慕し、その復活を祈つて居りますが、之を口にすれば首がないので、否應なしに政權に屈従するか、然らざれば餓死する外はないの

露國の議會

今その沿革を申しますと、日露戰爭の末頃から人民の自治的自覺が盛になり、戦後には自治の機關が設けられねばならぬ様になり、一九〇六年（明治三十六年）には終に帝國議會が設けられました。

革命 それから民權が日に盛になり、遂に第一次の革命が起り、ケレンスキーといふ猶太人が普通選舉法を編成して之を實施し、さうして勞兵會が起つて革命を實行致しました。

土地領有權 革命と同時に「土地は農民の所有たるべし」といふ法令が出ました。それで農民の子弟は戰場から還り、土地の占領が盛に行はれました。

兵卒の監督權 之と同時に「兵卒は將校を監督すべし」といふ法令が出ました。そこで兵卒は將校に従はず、知識階級や有産階級の將校は大抵殺され又は外國に逃れました。

奪はれた物は奪へ レニンの時になつて「奪れた物は奪へ」といふ標語が放たれました。これは有産階級の財産は下層民の膏血を絞つて奪つた物であるから之を奪へといふ意味であります。そこで労働者や無智の兵卒は喜んで有産階級の財産を強奪し、工場主から

であります。即ち露人は今や猶太人の目的通り政府に反抗する勇氣も精力もない様になつて居ります。

革命の主腦者 今度の露國の革命が猶太人の陰謀の結果であつたことは、革命政府の首腦者四百十七名中三百五十名は猶太人で露人は僅に二十名しかなかつたといふ事實が有力に之を證明してゐます。革命に加つた露人は共產主義とか社會主義とかにかぶれて新しがつた連中でありましたが、これ等は其後猶太人の陰謀を悟つて不従順でありましたから、皆反逆者の罪名を以て殺されました。今日露國を支配する者は皆猶太人であるやうです。

革命とシナゴーガ 革命中露國の正教會は皆掠奪せられ、その宣教師は皆迫害を受けましたが、猶太人の教會シナゴーガは何等の損害を受けなかつたさうです。

猶太人の金儲 露國の有産階級はその財産を二束三文に賣拂つて外國に逃れましたので、猶太人は之を買占めて皆非常な金儲をいたしました。

獨逸滅亡の原因 獨逸帝國が戦争に勝ちながら終に亡國の慘狀を見たのも、亦猶太人の努力の結果であ



りました。大正十年十月廿八日の萬朝報に「獨逸を毒した猶太人の罪」と題し、萬國學士院の會議に列席した岡松法學博士の歸朝談として左の記事が掲げてありました。

「獨逸が歐洲大戰に敗北した近因は、戦争永續に伴ふ人民の不平の聲を緩和せんが爲に各種の分子を政府内に入れた爲である。その結果商人が政治上の事に立入る様になり、それ等の猶太人が要路の大官と結託して戦争を軍需品の商賣に利用して了つたので、參謀本部の命令が少しも行はれぬ様になつたに原因する。……カイザーの帝室財産は競賣の結果猶太人の手に入つたが、政府が戦争中食糧の供給を外國に仰ぐの資に充てんか爲に人民から強制的に取上げた時計の金鎖や賠償金を拂つて婦人から集めた金の首飾等は、皆猶太人が政府と結託して之を買占めた。一面から云へば歐洲戦争は猶太人に金儲をさせたに過ぎない。何れ西洋は昔政治と美術を禁じたモセスの子孫たる猶太人に支配せられ、東洋は同じ性格の支那人が幅をきかすはすまいかと思はれる。」

以上述べ來つた各條の外に、猶太人の世界破壊の計畫

書には次の様な數ヶ條が述べてある。

- 一、敬神の念が失はれぬ内は王權の維持を以て國民の頭から敬神の念を抜き取つて之に代るもの慾求を以てせねばならぬ。

- 二、この事を猶太人以外から氣付かれずして成しよようとするには、人民の心を商業と工業とに引つけねばならぬ。

- 三、これによつて社會を破壊しようとするには、商業と工業とを投機的地盤の上に置かねばならぬ。さうすれば死活問題の激しい争奪戦が始まつて冷酷無殘な社會が出来唯金力のみを崇拜するやうになる。さうなると下流社會は上流社會に對する憎惡から吾人に服従し、吾人の敵たる上流社會を亡ぼすことに努力するやうになる。

- 四、帝王に危害を加ふることが屢々であれば自然帝王の権力は衰へるから、吾人の謀者を煽動して屢々之を決行せしめた。

「四」

思ひ當る事多し。猶太人の陰謀は右の如く實に戦

慄すべきものでありまして、吾々は一ヶ條／＼毎に思ひ當ることがあるのであります。猶太人の魔の手は果して我國には伸びて居ないでありませんか。

買取された日本人。労働争議などを専門として居る人々が外國から金を貰つて居るといふことは、確なる筋から吾々の聞いた所でありませんが、日本赤化運動の爲には露國が多大の金子と努力とを費して居るといふ事は、吾々が新聞紙上で承知して居る所であります。

間接の買取。直接猶太人から金を貰はないでも、彼等の手先となつて過激なことを雑誌や著書に載せれば賣行が非常に良いので、自己以外には何物をも認めない所の自稱學者や政客などが不穩な言論を著書や新聞雑誌に連載して居る事は諸君の御承知の通りであります。即ち日本人は自から進んで猶太人の手先となり、國家及び民族を滅亡の淵に導きつゝあるのであります。

政治上の憂ふべき現狀。又最近十數年間に於ける我が政治上の狀態を通過するに、憲政會を根據とした大隈内閣は、少數黨の内閣は多數國民の民意に副はぬものとして葬り去られ、次の寺内内閣は軍閥内閣として葬られ、政友會の原内閣は多數黨横暴の理由で葬り去

られ、加藤内閣は政黨に立脚しない變態内閣として猛烈なる攻撃を受け、首相の死によりて忽ち瓦解し、山本内閣は一人の不敬漢の爲に斃れ、清浦内閣は特殊階級内閣といふ名の下に猛烈な反對を受けました。之を英國などの正々堂々たる紳士的の議論を以て勝敗を決し、國難に當つては黨派の別を忘れる如き有様に比べて、誠に汗顔に堪へない次第であります。今日の様な有様では、國政を料理して國家を泰山の安きにおくやうな大政治家大指導家の出やう筈はありません。畢竟國民自身が自殺しつゝある様なものです。これが他日無政府情態を誘致する國情の前提ではないかと思ひますと、誠に憂慮に堪へない次第であります。

國民の覺醒。併しそれといふも、畢竟皆猶太人が仕懸けた陰謀のわなに引かゝり、その魔法に打たれて居る爲でありますから、我國民たる者は此際大に覺醒して、無暗に新しがることを思ひこまり、詔書にお示し下された有難い聖旨を一意奉戴して、國民道徳の復興に志し億兆心を一にして我が大和民族の使命に向つて猛進せねばならぬと思ひます。而してそれが我が國民の本分であり、同時に各自の利益と幸福を保護増進する所以であると思ひます。



306  
881

大正十四年十月七日印刷  
大正十四年十月二十日發行

報德一部轉載

福岡縣浮羽郡吉井町

發行所 中町報德會事務所

京都桃山報德雜誌

著者 永山時英 轉載

福岡縣浮羽郡吉井町

發行人 原 慧 德

福岡縣浮羽郡吉井町

印刷人 赤司良亮



終

